

2013年7月8日

## NGO ピースボート 30 周年記念クルーズ 出航記者会見のお知らせ

### 語り・奏でる、震災の教訓と平和のメッセージ ～ 7月18日横浜港、若者たちが世界一周に出発～

今回のピースボート地球一周クルーズは、7月18日に横浜港を出航し、85日間の航海を経て10月10日に帰国します。設立30周年目の記念クルーズとなる今回は、世界19ヶ国20寄港地を訪問。最終寄港地には、東日本大震災の直後からピースボートが災害ボランティアを続ける宮城県石巻市を選びました(外交客船の石巻寄港は初めて)。この地球一周の航海では数多くのプロジェクトを行いますが、特に注目は若者を中心とした被災体験の継承や平和へのメッセージを伝えるプロジェクト(下記参照)です。参加者が集う出航当日の横浜港で、記者会見を行います。

#### 震災の教訓を伝え、東北復興へのヒントを持ち帰る

ピースボートでは、一般公募から選んだ石巻市の高橋さやかさん(28歳、会社員)と、女川町の崎村周平さん(30歳、デザイナー)の2名を「石巻ユースアンバサダー(青年大使)」として世界一周クルーズに招待することを決定しました。石巻から世界を切り開いたとされる慶長遣欧使節船の出帆400周年を記念したプロジェクトでもあり、石巻市の姉妹都市イタリア・チビタベッキア市を含め、世界各地の防災・減災に貢献しようとそれぞれの被災体験を伝えます。参加する2名は、帰国後も旅の体験や学びを活かして、演劇やアートを通じて東北復興を支えたいと話しています。

※石巻ユースアンバサダープロジェクト後援:石巻市、石巻市教育委員会、石巻専修大学、公益財団法人慶長遣欧使節船協会

#### 被爆証言を次世代に語り継ぐ

「ヒバクシャ地球一周 証言の航海」(おりづるプロジェクト)は今回で第6回目、日本政府から「非核特使」に委嘱された広島・長崎の被爆者9名が参加します。また、次世代へ語り継ぐ担い手として、世界で被爆者とともに証言活動を行う広島出身の瀬戸麻由さん(21歳、大学生)も「おりづるユース特使」としての参加が決まりました。

#### 音楽が奏でる平和へのメッセージ

この7月、ピースボートでは、貧困や犯罪から子ども達を守る取り組みで世界的に注目されるベネズエラ青少年オーケストラ「エル・システム」の若き音楽家10名を招聘し、広島・横浜・東京で来日コンサートを実施します。その後、彼らは横浜からクルーズに乗船し、上記「おりづるプロジェクト」とともにアジア各国でもコンサートを行う予定です。

## ■ 出航記者会見

- 【日時】2013年7月18日(木) 集合:9時45分 ターミナル会議室 開始:10時00分 展望デッキ
- 【場所】横浜大さん橋国際客船ターミナル(横浜市中区海岸通 1-1-4)
- 【出席者】崎村周平さん(石巻ユースアンバサダー、30歳)、高橋さやかさん(石巻ユースアンバサダー、28歳)  
笹森恵子さん(米国在住、広島被爆当時13歳)、瀬戸麻由さん(おりづるユース特使、21歳)  
アンジェロ・ロペスさん(ベネズエラ「エル・システム」、18歳)、川崎哲(ピースボート共同代表)

※出航は13時を予定しています。出航の様子は展望デッキから撮影できます。

※当記者会見は、NGOピースボートと一般社団法人ピースボート災害ボランティアセンターが合同で行います。

## ● このリリースに関するお問い合わせは、

ピースボート災害ボランティアセンター(東京都新宿区高田馬場 3-13-1-B1)

TEL. 03-3363-7967 FAX. 03-3362-6073 MAIL. kyuen@pbv.or.jp